

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成30年4月19日 (2018.4.19)

【公表番号】特表2018-505021(P2018-505021A)
 【公表日】平成30年2月22日 (2018.2.22)
 【年通号数】公開・登録公報2018-007
 【出願番号】特願2017-558342(P2017-558342)
 【国際特許分類】

A 6 1 F 5/058 (2006.01)

A 6 1 C 7/08 (2006.01)

A 6 3 B 71/08 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 5/058

A 6 1 C 7/08

A 6 3 B 71/08 Z

【手続補正書】

【提出日】平成30年3月8日 (2018.3.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

熱成形樹脂を充填可能な構造であって、下顎歯が装着される受け台（1000）と、
 前記下顎の前歯が位置する前記受け台（1000）の前歯部分の上に配置され、上顎の
前歯と前記受け台（1000）が装着された前記下顎の前歯との間隔を固定し、前記下顎
の奥歯と前記上顎の奥歯との間隔を所定の範囲内に維持する前歯部位関係記録装置（60
10）と、

成形材料を充填可能な構造の2つの補助受け台（2000）であって、前記下顎の右側
 および左側の奥歯がそれぞれ位置する、前記受け台（1000）の右側および左側の奥歯
 部分のそれぞれの上部に装着される2つの補助受け台（2000）とを含み、

ここで、前記2つの補助受け台（2000）は、前記前歯部位関係記録装置（6010）
 ）によって提供される上顎及び下顎の位置に応じた前記下顎の奥歯及び前記上顎の奥歯に
 加わる圧力にしたがって、前記2つの補助受け台（2000）が前記受け台（1000）
 上に装着される高さがそれぞれ決定されることを特徴とする、高さ調節型スプリント。

【請求項 2】

前記成形材料は、熱成形樹脂（EVA樹脂）と熱成形樹脂および弾性合成樹脂の組み合
 わせとからなる群から選択されることを特徴とする、請求項1に記載の高さ調節型スプリ
 ント。

【請求項 3】

前記前歯部位関係記録装置（6010）は、

前記下顎の奥歯と前記上顎の奥歯との間の前記間隔が3.8mm～4.5mmの間の範
 囲の間隔を維持するように、前記受け台（1000）の前歯部分と前記上顎の前歯との間
 隔を固定することを特徴とする、請求項2に記載の高さ調節型スプリント。

【請求項 4】

前記前歯部位関係記録装置（6010）は、

前記熱成形樹脂を充填可能な構造を有するスティック状に作製され、右側の厚さが最も

厚く、左側に行くほど厚さが薄くなるように形成された前歯高さ調節台（４０１０）を備えられることを特徴とする、請求項１に記載の高さ調節型スプリント。

【請求項５】

前記２つの補助受け台（２０００）のそれぞれは、先端にヘッドが形成された少なくとも１つの突出するピンを備えており、

前記受け台（１０００）は、前記２つの補助受け台（２０００）のそれぞれの前記少なくとも１つの突出するピンと整列するように形成された穴を備え、

前記２つの補助受け台（２０００）のそれぞれの前記少なくとも１つの突出するピンは、前記穴に圧入され、熱成形処理によって前記穴と係合される、請求項２に記載の高さ調節型スプリント。

【請求項６】

上顎歯が装着される上顎歯保護部（１３１０ａ）と、

下顎歯が装着される下顎歯保護部（１３１０ｂ）と、

前記上顎歯保護部（１３１０ａ）と前記下顎歯保護部（１３１０ｂ）との間に位置し、前記上顎の奥歯と前記下顎の奥歯との間の間隔が奥歯の支持部の材質の硬度に応じて所定の範囲内の間隔を維持するようにする厚さを有する歯受け部（１３２０）とを含み、

前記所定の範囲は、３．８ｍｍ～４．５ｍｍの間である、顎関節均衡装置。

【請求項７】

前記上顎歯保護部（１３１０ａ）と前記下顎歯保護部（１３１０ｂ）と前記歯受け部（１３２０）の少なくともいずれかは、

弾性合成樹脂と、熱成形樹脂（ＥＶＡ樹脂）と、弾性合成樹脂および熱成形樹脂（ＥＶＡ樹脂）の組み合わせと、からなる群から選択されるいずれか１つを充填可能な構造を有するように作製される、請求項６に記載の顎関節均衡装置。

【請求項８】

前記上顎歯保護部（１３１０ａ）と前記下顎歯保護部（１３１０ｂ）と前記歯受け部（１３２０）の少なくとも１つは、弾性合成樹脂および熱成形樹脂（ＥＶＡ樹脂）の組み合わせによって作製され、

前記弾性合成樹脂は、３．８ｍｍ～４．５ｍｍの範囲の高さを有する、請求項７に記載の顎関節均衡装置。

【請求項９】

形状維持及び側方拡張のために金属で補強された前歯支持部（７０００）と、

上顎歯の口蓋面に密着し、上顎を支持する上顎歯口蓋支持部（７１００）と、

奥歯間の咬合面に位置し、奥歯を支持する奥歯受け部（７２００）と

を含み、

前記奥歯の間隔を３．８ｍｍ～４．５ｍｍの範囲内に維持する、顎関節均衡装置。

【請求項１０】

前記奥歯受け部（７２００）が弾性合成樹脂および熱成形樹脂（ＥＶＡ樹脂）の組み合わせによって作製される場合、前記弾性合成樹脂は３．８ｍｍ～４．５ｍｍの範囲の高さを有する、請求項９に記載の顎関節均衡装置。

【請求項１１】

前記奥歯受け部（７２００）は、

下方向又は上方向に傾斜していることを特徴とする、請求項９に記載の顎関節均衡装置。

。

【請求項１２】

前記奥歯受け部（７２００）は、

内側部分および外側部分を有し、前記内側部分と前記外側部分の高さは互いに異なる、請求項９に記載の顎関節均衡装置。